

【指導上の留意点】 3 ステップ 高校生の就職面接対策

③自己プレゼンテーション

導入時の説明内容

様々な面接において、重要な要素は自己プレゼンテーションをしっかりと行うことである。自己プレゼンテーションこそ面接官に自分を理解してもらえる最大の武器になっている。そこで、面接における自己プレゼンテーションの方法を身に付けるための学習を映像教材の視聴によって行う。視聴の視点（ポイント）を学習した後に視聴する。視聴後に簡単なワークシートで作業を行い、どれだけ内容を理解したかを判定するので、真剣に視聴させる。

視聴のポイント

1. 自己プレゼンテーションで重要なポイントを理解しておくこと

自分の考えを自分の言葉で表現すること。

2. 個人面接の要点を理解しておくこと

- (1) 必ず質問されるのが、志望動機である。志望動機については、あらかじめ自己分析を行い、自分の考えを自分の言葉で表現した文章を作成し、担任や進路指導の先生に添削してもらうこと。
- (2) 面接での答え方は、質問に正対した答え方を結論から先に簡潔に述べる。

3. 集団面接の可否のポイントを理解しておくこと

- (1) 他の人より自分を印象づける答え方をする。
- (2) 他人の話をよく聴き、他人の意見も取り入れた答え方をする。
- (3) 明るく論理的な受け答えを心掛ける。

4. 集団討論の評価のポイントを押さえておくこと

- (1) 進んで難しい役を引き受ける。
- (2) 議論の方向を決める。
- (3) 論理的に簡潔に話している。
- (4) 人の意見をよく聴き、自分の考えを加えて発展的に述べている。
- (5) あまり話さない人にも意見を求める。
- (6) 話の流れを整理し、論点を明確にする。
- (7) 課題解決に導く。